

事業番号	133
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域密着型サービス施設整備補助事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	長寿介護課				
	事業期間	平成22年度		～	平成26年度		担当係	介護保険係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉	13 高齢者福祉	2 高齢者の地域での生活を支援する						
		副目的									
	予算区分	款	3	項	2	目	4	大	2	中	6
	根拠法令・個別計画	愛知県介護基盤緊急整備等特例基金事業費補助金交付要綱、小牧市高齢者保健福祉計画									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	介護を必要とする高齢者が住みなれた地域で生活が続けられるよう、地域密着型サービス施設の整備を進める。									
	内容 (手段)	<p>平成21年度愛知県に創設された介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用し、本市高齢者保健福祉計画に基づき地域密着型サービス施設の整備を行う事業者に対し、建物の建築費用を補助する。</p> <p>24年度は、小規模多機能型居宅介護2箇所 ニッケふれあいセンター小牧／花梨ふじしま に対し補助を実施した。 (直接経費の内訳) 補助金 60,000千円</p> <p>25年度は、認知症対応型共同生活介護1箇所、地域密着型介護老人福祉施設1箇所、小規模多機能型居宅介護1箇所への補助を予定している。 (直接経費の内訳) 補助金 176,000千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	52,500	0	60,000	176,000
	正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
		人件費	千円	533	533	533	533
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	53,033	533	60,533	176,533
対前年比		%		1.0	11,357.0	291.6	
財源	一般財源	千円	533	533	533	533	
	国・県支出金	千円	52,500	0	60,000	176,000	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	補助対象施設整備箇所数	箇所	目標	2	3	4	3
			実績	2	0	2	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
補助実施法人数	社	目標	—	—	—	—	
		実績	2	0	2		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	4施設の整備を目標としていたが、公募の結果、小規模多機能型居宅介護2箇所の応募があり、選定のうえ事業予定者として決定した法人2者に対し補助を実施した。	
		事業実施における課題	施設整備に欠かせない用地の確保が困難になってきている。また、単年度補助制度のため、施設規模によっては、補助対象事業の完了までに時間的な余裕がないことなどが事業者にとって足かせとなっている。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業者による施設整備が滞り、高齢者保健福祉計画で目標としている地域密着型介護サービスの提供ができなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	市の保有する用地の情報を事業者に提供し、用地の確保の支援を図ったほか、募集時期を早め、事業者がこのサービスを利用するにあたり時間的な余裕を考慮する。	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	介護基盤緊急整備等臨時特例基金は23年度までの時限措置であったが、25年度まで延長されている。26年度以降は地域介護・福祉空間整備交付金事業に戻る見込みであるが、介護が必要な高齢者が、住みなれた地域で暮らし続けられる介護基盤の整備は急務であり、計画期間中に予定施設の整備を図ることができるよう事業を維持していく必要がある。		
	26年度以降の改善案	募集時期を早め、事業者がこのサービスを利用するにあたり時間的な余裕を確保できるよう配慮するほか、用地の確保のため、市有地の他に県有地等の情報についても積極的に活用を図り、整備を促進する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。